

MU368010A
TDMA 変調ユニット
取扱説明書

第2版

- ・製品をご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。
- ・安全にお使いいただくための重要事項は、MG3681A デジタル変調信号発生器取扱説明書に記載してありますのでそちらをお読みください。
- ・本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

MU368010A
TDMA 変調ユニット
取扱説明書

2000年（平成12年）10月31日（初 版）
2003年（平成15年）12月 1 日（第 2 版）

-
- ・予告なしに本書の内容を変更することがあります。
 - ・許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。

Copyright © 2000-2003, ANRITSU CORPORATION
Printed in Japan

品質証明

アンリツ株式会社は、本製品が出荷時の検査により公表規格を満足していること、ならびにそれらの検査には、産業技術総合研究所 (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology) および通信総合研究所 (Communications Research Laboratory) などの国立研究所によって認められた公的校正機関にトレーサブルな標準器を基準として校正した測定器を使用したことを証明します。

品質保証

アンリツ株式会社は、納入後 1 年以内に製造上の原因に基づく故障が発生した場合は、無償で修復することを保証します。

ただし、次のような場合は上記保証の対象外とさせていただきます。

- ・ 取扱説明書に記載されている保証対象外に該当する故障の場合。
- ・ お客様の誤操作、誤使用、無断改造・修理による故障の場合。
- ・ 通常の使用を明らかに超える過酷な使用による故障の場合。
- ・ お客様の不適當または不十分な保守による故障の場合。
- ・ 火災、風水害、地震、そのほか天災地変などの不可抗力による故障の場合。
- ・ 指定外の接続機器、応用機器、応用部品、消耗品による故障の場合。
- ・ 指定外の電源、設置場所による故障の場合。

また、この保証は、原契約者のみ有効で、再販売されたものについては保証しかねます。

アンリツ株式会社は、本製品の欠陥に起因する損害のうち、予見できない特別の事情に基づき生じた損害およびお客様の取引上の損失については、責任を負いかねます。

当社へのお問い合わせ

本製品の故障については、本説明書 (紙版説明書では巻末、CD 版説明書では別ファイル) に記載の「本製品についてのお問い合わせ窓口」へすみやかにご連絡ください。

国外持出しに関する注意

1. 本製品は日本国内仕様であり、外国の安全規格などに準拠していない場合もありますので、国外へ持ち出して使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。
2. 本製品および添付マニュアル類は、輸出および国外持ち出しの際には、「外国為替及び外国貿易法」により、日本国政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があります。

本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は、事前に必ず弊社の営業担当までご連絡ください。

輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は、軍事用途等に不正使用されないように、破碎または裁断処理していただきますようお願い致します。

廃棄対策について

本器は砒素を含む化合物半導体を内蔵しています。廃棄する場合は各国の条例および各地方の条例に従って処理するように注意してください。

商標・登録商標

MS, Microsoft, MS-DOS, Windows は米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。

IBM, AT は International Business Machines 社の登録商標です。

NI-488.2TM はナショナルインスツルメンツ社の登録商標です。

はじめに

この取扱説明書は、MU368010A TDMA 変調ユニットの機能概要について記述したものです。

MU368010A TDMA 変調ユニットは、各種ソフトウェアをインストールし、MG3681A デジタル変調信号発生器を装着して使用する変調ユニットです。

ソフトウェアをインストールしたときの機能詳細などについては、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MG3681A デジタル変調信号発生器 本体 取扱説明書は、別冊として用意されています。本取扱説明書とあわせてご使用ください。

目次

はじめに	I
第 1 章 概要	1-1
1.1 製品概説.....	1-2
1.2 製品構成.....	1-3
第 2 章 保管および輸送	2-1
2.1 長期保管上の注意	2-2
2.2 再梱包と輸送	2-3
付録A 規格	A-1

この章では, MU368010A TDMA 変調ユニットの製品概説および標準付属品の機器構成について説明します。

1.1	製品概説	1-2
1.2	製品構成	1-3

1.1 製品概説

MU368010A は、MG3681A デジタル変調信号発生器(以下、本器)に装着する TDMA 変調ユニットです。

本器に MU368010A を装着すると、外部のベースバンド信号源を使用せずに、PDC、GSM などの TDMA 変調方式の通信システムに対応した変調信号を発生することができます。

1.2 製品構成

MU368010A の標準構成を下表に示します。梱包を開いたら、記載した製品が揃っているかどうか確認してください。万一、不足や破損したものがあれば、当社または代理店へご連絡ください。

項目	形名・記号	品名	数量	備考
本体	MU368010A	TDMA 変調ユニット	1	対応システム： PDC, GSM 等
付属品	W1835AW	取扱説明書	1	

第2章 保管および輸送

この章では、保管上の注意と輸送のさいの注意事項について説明します。

2.1	長期保管上の注意	2-2
2.2	再梱包と輸送	2-3

2.1 長期保管上の注意

下記の場所での保管は避けてください。

- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ ほこりの多い場所
- ・ 水滴が付着するような高湿度の場所
- ・ 活性ガスにおかされる場所
- ・ 本器が酸化するおそれがある場所
- ・ 下記に示す温度と湿度の場所

温度 < -20°C , $>60^{\circ}\text{C}$

湿度 $\geq 90\%$

推奨できる保管条件

長期保管するときは、上記の保管前の注意条件を満たすほかに、下記の環境条件の範囲内で保管することをお勧めします。

- ・ 温度 0～ 50°C の範囲
- ・ 湿度 40～80%の範囲
- ・ 1日の温度, 湿度の変化が少ないところ

2.2 再梱包と輸送

本器を輸送する場合に注意することを説明します。

再梱包

本器が最初に入っていた梱包材料(箱)を使って、再梱包してください。その梱包材料を破棄、破損した場合は、下記の方法で再梱包してください。

- ① 本器を導電性ビニールで包みます。
- ② 本器と本器の回りを囲む緩衝材料が入るのに十分な大きさのダンボール、木箱、またはアルミ製の箱を用意します。
- ③ 箱の中に本器を入れます。次にその回りに緩衝材をいれ、本器が箱の中で動かないようにします。
- ④ 箱の外側を梱包紐、粘着テープ、バンドなどでしっかりと固定します。

輸送

できる限り、振動を避けるとともに、推奨できる保管条件を満たした上で、輸送することをお勧めします。

付録A 規格

項目	規格
対応ソフトウェア	MX368011A PDC ソフトウェア, MX368012A GSM ソフトウェア(各ソフトウェアインストール時の規格についてはそれぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください)。
使用スロット数	1 スロット
ファームウェア バックアップ領域	TDMA:2 Mbyte FPGA:0.5 Mbyte
質量	400 g

